

# I 指定基準

## 第1. 目的

この基準は、建築基準法（昭和25年法律第201号。以下「法」という。）第42条第1項第5号の規定に基づいて、道路の位置の指定を行なうについてその具体的な基準を定めることにより良好な市街地の形成を確保することを目的とする。

## 第2. 道路の配置、設計の原則

位置の指定を受けようとする道路（以下「指定道路」という。）は、その道路に接して敷地となる区域の規模、形状、地形及び周辺の状態ならびに予定建築物の用途および配置等に合致した計画とし、関係法令の規定によるほかこの基準に定めるところに従い築造するものとする。

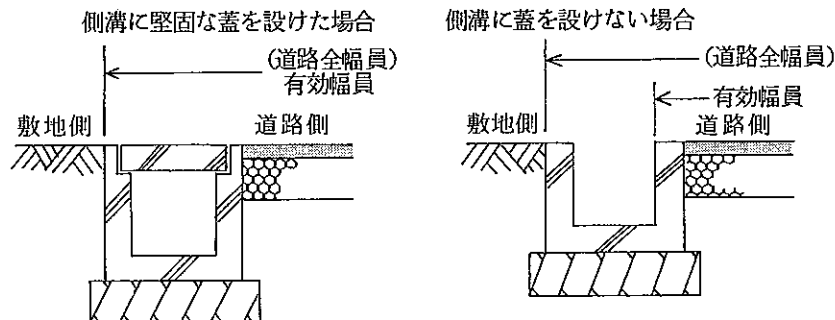
## 第3. 袋路状道路の特例

一端が口字型（口字型に類する型を含む。以下この基準において同じ）となっている道路で、その他の道路から口字型の道路に至るまでの道路の幅員が6メートル以上又は、その道路の幅員が6メートル未満で延長35メートル以内毎に転回広場が設けられているものは、袋路状道路とすることができる。

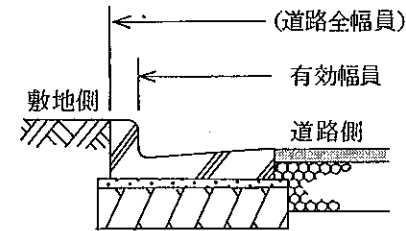
## 第4. 指定道路の幅員および延長

1. 指定道路の幅員は、次図に示す方法によって測る有効幅員とする。

### 〈U型側溝〉



### 〈L型側溝〉



2. 指定道路の延長は、道路の各部分の中心線によって測るものとする。

## 第5. 転回広場の間隔

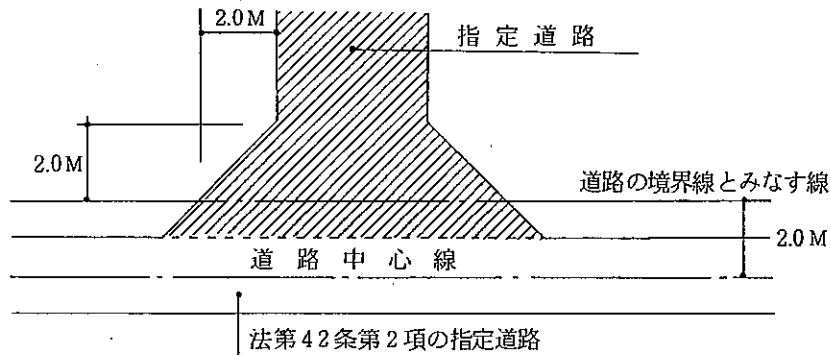
1. 建築基準法施行令（昭和25年政令第338号以下「令」という。）第144条の4第1項第1号ハの規定による転回広場の間隔は、接続する既存道路の側端（法第42条第2項の規定により道路の境界線とみなす線がある場合は、その境界線）を起点として測るものとする。
2. 既存の袋路状道路に指定道路を接続する場合で、当該既存の道路の延長が35メートルをこえるものにあつては、当該既存の道路にも転回広場を設けなければならない。ただし、転回広場を設けることが著しく困難であると特定行政庁が認める場合は、当該既存の道路に最も近いところに転回広場を設けることができる。

## 第6. 転回広場の規模及び標示

1. 昭和45年建設省告示第1837号の自動車の転回広場に関する基準に適合するものは、つぎのとおりとする。  
小型自動車1台当りの停車に必要な広さは、長辺が5メートル以上、短辺が2.5メートル以上であるもの。ただし道路に平行に停車する場合で自動車の転回に支障のない場合は、その短辺を2.0メートルとすることができる。
2. 転回広場とその他の部分（指定道路部分を除く）の境界には、側溝又はコンクリートフチ石を埋設し標示する。

## 第7. 指定道路のすみ切り

1. 指定道路が法第42条第2項の規定による道路と接続する場合のすみ切りは次図に示す形状とする。



2. 指定道路が他の道路若しくは、他の指定道路と同一平面で交差若しくは、接続又は屈曲することにより生ずる内角が60度以下の場合、角地の隅角を頂点とする底辺の長さが2メートル以上となるような二等辺三角形の部分を道に含むすみ切りを設けること。
3. 指定道路の角地のすみ切りは、次の各号の一に該当し、かつ交通上、安全上支障がない措置を講じた場合は、その部分のみは設けないことができる。この場合、一方のすみ切りは少なくとも隅角をはさむ辺の長さが3メートル以上の二等辺三角形の部分を道に含むものとしなければならない。
  - (1) 道路を河川、水路等に接して築造する場合で、これに交差する道路の橋りょう等によりすみ切りができないとき。
  - (2) 既存の家屋、高い堅固な擁壁若しくは、がけ等があり、すみ切りを設けることが著しく困難と特定行政庁が認めるとき。
4. すみ切り長さの測定は、指定道路の有効幅員端で行う。

## 第8. 指定道路の側溝

指定道路の側溝は、次の各号により築造しなければならない。

- (1) 道路の両側にはコンクリート製U型側溝を設け、堅固で耐久力を有する構造とし、溢水のおそれのないものとする。

- (2) 敷地内の排水に支障なく、路面の排水のみに供する側溝については、前号の規定にかかわらずL型側溝とすることができる。
- (3) 道路の側溝に土砂の流入のおそれのある場合は、側溝の隅角部等適切な箇所に溜柵を設けること。

## 第9. 指定道路の構造

1. 指定道路の縦断勾配は9パーセント以下としなければならない。ただし、地形等によりやむを得ないと特定行政庁が認めた場合はこの限りではない。なお縦断勾配が9パーセントをこえるものについては、コンクリート又はアスファルトの舗装を行い、かつすべり止めの処置を施すこと。
2. 指定道路は、砂利敷その他の安全かつ、円滑な交通に支障を及ぼさない構造とし、かつ適当な値の横断勾配が附されていること。

## 第10. 指定道路の附属物

指定道路には、通行の安全を確保するために必要と認められるときは、防護柵を設置する等適切な措置を講じなければならないこと。

## 第11. 排水施設の末端

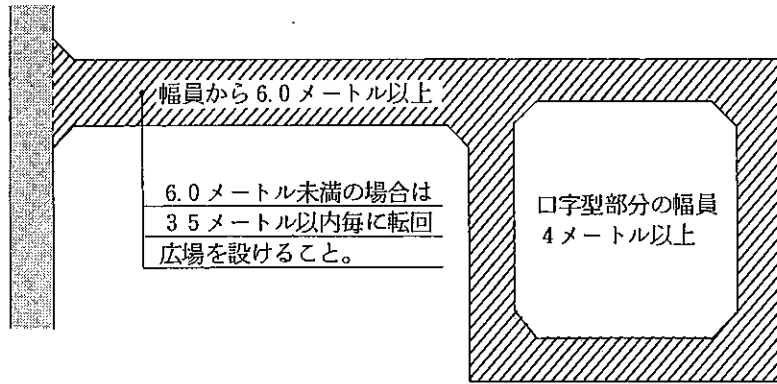
側溝及び下水道等の排水施設の末端は、公共下水道、都市下水路等、その他の支障のない排水施設に連結すること。

## 第12. 指定道路の標示

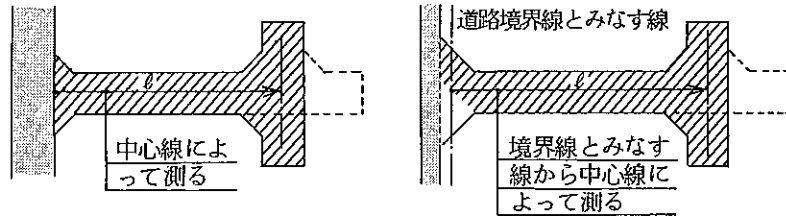
指定道路とその他の部分との境界には側溝、コンクリートフチ石、及びコンクリート杭等を埋設し標示すること。

# 図解

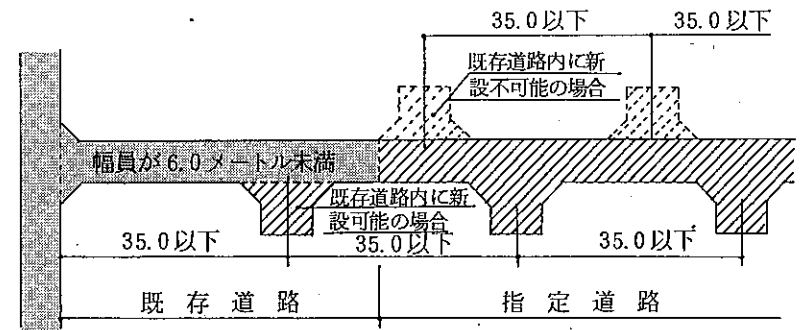
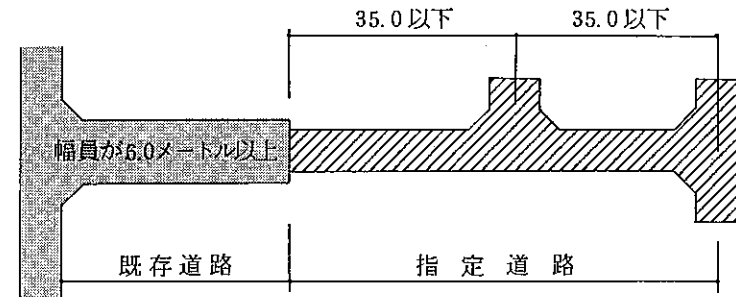
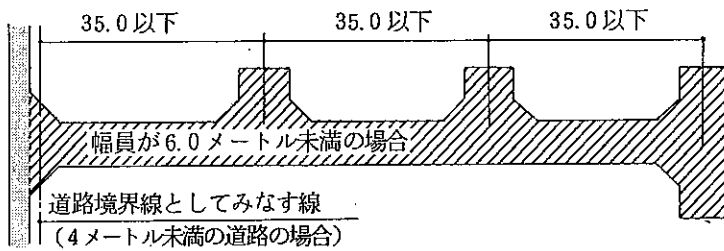
## 1. 袋路状道路の特例 (基準第3)



## 2. 道路延長の測りかた (基準第4の2)



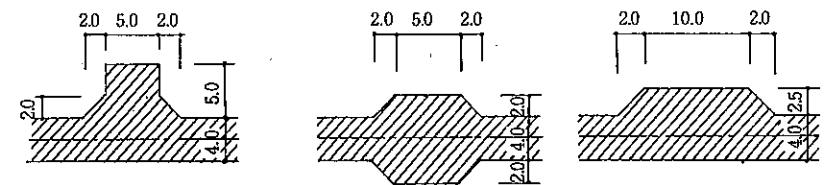
## 3. 転回広場の間隔 (基準第5の1、2)



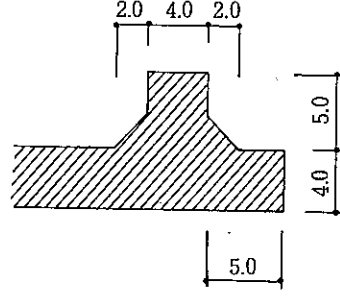
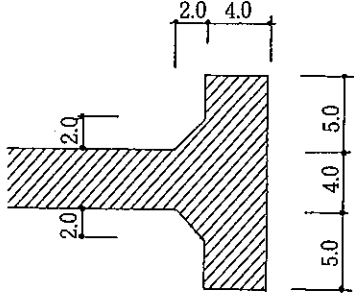
## 4. 転回広場の規模

(基準第6の1)

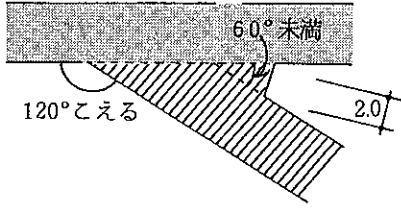
(1) 中間に設けるもの



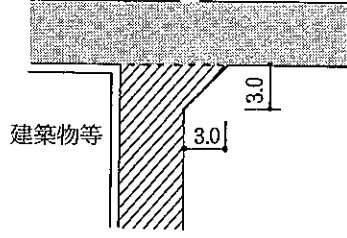
(2) 終端に設けるもの



5. すみ切の特例  
(基準第7の2)



(基準第7の3)

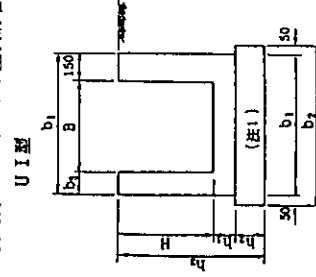


6. 側溝 (基準第8)

道路と敷地の境界には図-(1)~図-(7)の構造の側溝を設けることとする。なお、側溝が排水路を兼ねる場合は、これらの事項を勘案して適当な構造とする。

図-(1)

裏溝打コンクリートU型仰座各種

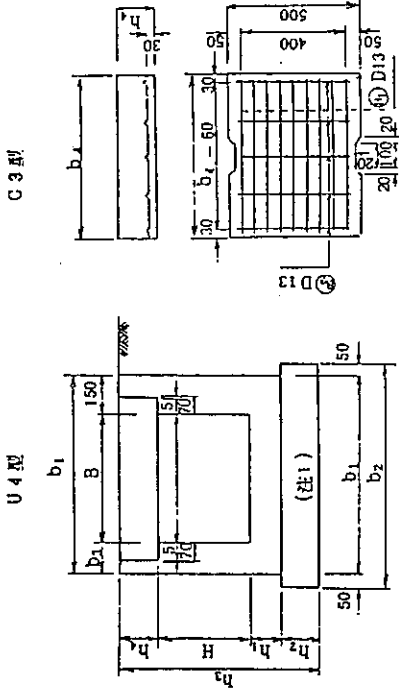


- UI: 片側側溝に過剰荷重による土圧を受ける場合  
設計基準強度 鋼こうり  $\sigma_{ck} = 160 \text{ kg/cm}^2$   
単位体積重量 鉄筋コンクリート 2,500  $\text{kg/m}^3$   
注意事項
1. 鉄筋材の使用材料を該当する箇所に明記すること。
  2. UI型はJIS A5334(2種)のプレキャストU型鋼とりぶたも利用できるようにしたが、重車両の荷重が考えられる場合は、使用しないこと。
  3. 材料は1.0m当りで計上してある。
  4. 型わく面積は、側溝を先行し、底版を後行する施行方法を考慮して計上してある。
  5. 側部型わく面積を必要とする場合は、コンクリート体積(材料表内の数量の1/10)の2倍(両端の時)を計上すればよい。
  6. コンクリート打設は豆版等が生じないよう十分な締め固めを行うこと。

UI型(場所打ちU型鋼こうり:ふたなし)寸法および材料表

記号	寸法表(単位mm)							材料表(10m当り)			
	B	H	b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	b <sub>3</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	コンクリート(㎡)	基礎材(注1)(㎡)	型わく(㎡)
U1-B300-H300	300	300	570	670	120	120	100	520	1.494	0.670	16.800
U1-B300-H400	300	400	570	670	120	120	150	670	1.764	1.005	20.800
U1-B300-H500	300	500	570	670	120	120	150	770	2.034	1.005	24.800
U1-B300-H600	300	600	600	700	150	150	150	900	2.700	1.050	30.000
U1-B360-H400	360	400	630	730	120	120	150	670	1.836	1.095	20.800
U1-B360-H500	360	500	630	730	120	120	150	770	2.106	1.095	24.800
U1-B400-H400	400	400	670	770	120	120	150	670	1.884	1.155	20.800
U1-B400-H500	400	500	670	770	120	120	150	770	2.154	1.155	24.800
U1-B400-H600	400	600	700	800	150	150	150	900	2.850	1.200	30.000
U1-B450-H450	450	450	720	820	120	120	150	720	2.079	1.230	22.800
U1-B500-H500	500	500	770	870	120	120	150	770	2.274	1.305	24.800
U1-B500-H600	500	600	800	900	150	150	150	900	3.000	1.350	30.000

U4型は片側側面に過載荷重による土圧を受ける場合  
 設計基準強度 鋼こう  $\sigma_{ck} = 160 \text{ kg/cm}^2$   
 鋼こうふた  $\sigma_{ck} = 210 \text{ kg/cm}^2$   
 単位体積重量 鉄筋コンクリート  $2500 \text{ kg/cm}^3$



U4型(場所打ちU型鋼こう;ふた付き)寸法および材料表

記号	寸法表(単位mm)				材料表				鋼こうふた材料表(10m当り)			摘要			
	B	H	b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	b <sub>3</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	コンクリート(m <sup>3</sup> )	基礎材(m <sup>3</sup> ) (注1)	型わく(㎡)		コンクリート(m <sup>3</sup> )	型わく(㎡)	鉄筋重量(kg)
U4-B300-H300	300	300	570	670	120	120	100	650	1.663	0.670	22.000	0.540	0.540	89.940	ふたの寸法についてはC3型を使用
U4-B300-H400	300	400	570	670	120	120	150	800	1.933	1.005	26.000	0.540	0.540	89.940	
U4-B300-H500	300	500	570	670	120	120	150	900	2.203	1.005	30.000	0.540	0.540	89.940	
U4-B400-H400	400	400	670	770	120	120	150	800	2.053	1.155	26.000	0.680	0.680	132.340	
U4-B400-H500	400	500	670	770	120	120	150	900	2.323	1.155	30.000	0.680	0.680	132.340	
U4-B500-H500	500	500	770	870	120	120	150	920	2.469	1.305	30.800	0.940	0.940	150.240	
U4-B500-H600	500	600	800	900	150	150	150	1,050	3.240	1.350	36.000	0.940	0.940	150.240	

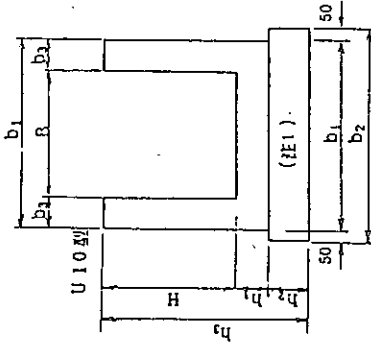
C3型(場所打ちU型鋼こうふた)寸法および材料表

記号	寸法表(単位mm)				材料表				鉄筋重量(kg)	
	b <sub>4</sub>	h <sub>4</sub>	コンクリート(m <sup>3</sup> )	型わく(㎡)	鉄筋(D13)		鉄筋(D13)		1枚当り平均	
	本数	長さ(mm)	本数	長さ(mm)	本数	長さ(mm)	本数	長さ(mm)		
C3-B300	430	130	0.027	0.242	7	400	4	430	4.497	68
C3-B400	530	130	0.034	0.268	9	500	5	430	6.617	85
C3-B500	630	150	0.047	0.339	9	600	5	430	7.512	118

注意事項

1. 基礎材の使用材料を該当する箇所に明記すること。
2. 鋼こうふたの記号における幅(B)は、そのふたを渡すべき鋼こうの幅を表わす。
3. 鋼こうふたのみを使用する場合は、タイトル中の( )内の記号を置きかえればよい。  
 例: 01-US-03 (C2-B400) - S49
4. 材料は10m当りで計上してある。ただし、ふたについては1枚当りも計上した。
5. 型わく面積は、脚座を先行し底版を後行する施工方法を考慮して計上してある。
6. ふたの型わく面積は、1枚当りについてはC2型は4側面と底面切欠部(図中Jの部分)、C3型は4側面のみ計上してあるが10m当りについては、現場の施工方法に従って計算し、空欄に記入すること。
7. ふたの鉄筋(㊸)および(㊹)は使用本数のみ示してあるので施工にあたって等間隔に並列配置すること。
8. 端部型わく面積を必要とする場合は、コンクリート体積(材料表内の数値の1/10)の2倍(両端の時)を計上すればよい。
9. ふたの接地面は、コチを使用し平坦に仕上げること。
10. コンクリート打設は豆板等が生じないように十分な締め固めを行なうこと。
11. ふたの設置は上、下面をまちがわれないようにすること。これに対しては上面に企業者などのマークをつけておくことよ。

図一(3)



U10：鋼梁に過載荷重が加わる土圧を受けけない場合  
設計基準強度 鋼こう  $\sigma_{ck} = 160 \text{ kg/cm}^2$   
単位体積重量 鉄筋コンクリート  $2,500 \text{ kg/m}^3$

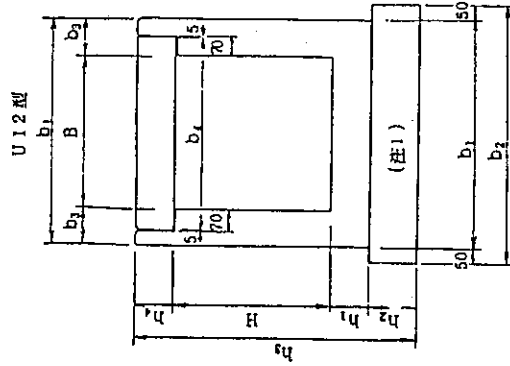
注意事項

- 基礎材の使用材料を該当する欄所に明記すること。
- U10型はJIS A5334 (2種)のプレキャストU型鋼こうふたも利用できるようにした  
が、重車両の荷重が考えられる場合は、使用しないこと。
- 材料は1.0m当りで計上してある。
- 型わく面積は、鋼梁を先行し底版を後行する施工方法を考慮して計上してある。
- 端部型わく面積を必要とする場合は、コンクリート体積(材料表内の数値の1/10)の2  
倍(両端の時)を計上すればよい。
- コンクリート打設は、豆板等が生じないよう十分な締め固めを行うこと。

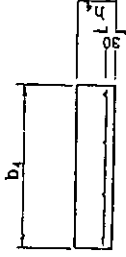
U10型 (場所打ちU型鋼こう：ふたなし)寸法および材料表

記号	寸法 (単位:mm)						材料表 (10m当り)			備 考	
	B	H	b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	b <sub>3</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	コンクリート (m <sup>3</sup> )		基礎材 (m <sup>3</sup> ) (注1)
U10-B240-H300	240	300	480	580	120	120	100	520	1.296	0.580	16.800
U10-B300-H300	300	300	540	640	120	120	100	520	1.368	0.640	16.800
U10-B300-H400	300	400	540	640	120	120	150	670	1.608	0.960	20.800
U10-B300-H500	300	500	540	640	120	120	150	770	1.848	0.960	24.800
U10-B360-H400	360	400	600	700	120	120	150	670	1.680	1.050	20.800
U10-B360-H500	360	500	600	700	120	120	150	770	1.920	1.050	24.800
U10-B400-H400	400	400	640	740	120	120	150	670	1.728	1.110	20.800
U10-B400-H500	400	500	640	740	120	120	150	770	1.968	1.110	24.800
U10-B450-H400	450	400	690	790	120	120	150	670	1.788	1.185	20.800
U10-B450-H500	450	500	690	790	120	120	150	770	2.028	1.185	24.800
U10-B500-H500	500	500	740	840	120	120	150	770	2.088	1.260	24.800
U10-B500-H600	500	600	800	900	150	150	150	900	3.000	1.350	30.000

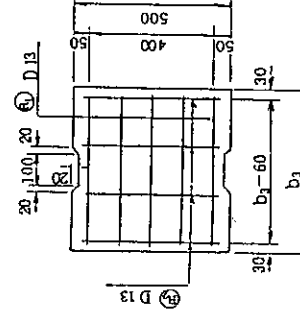
図一(4)



U12型



C7型



U12：鋼梁に過載荷重による  
土圧を受けない場合

設計基準強度 鋼こう

$\sigma_{ck} = 160 \text{ kg/cm}^2$

鋼こうふた

$\sigma_{ck} = 210 \text{ kg/cm}^2$

単位体積重量 鉄筋コンクリート  
 $2,500 \text{ kg/m}^3$

U12型 (場所打ちU型鋼こう：ふた付き)寸法および材料表

記号	寸法 (単位:mm)						材料表 (10m当り)			ふた材料表(10m当り20枚)		備 考		
	B	H	b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	b <sub>3</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎材 (m <sup>3</sup> ) (注1)	型わく (m <sup>2</sup> )		鉄筋重量 (kg)	ふたの寸法 についてH C7型を使 用。
U12-B300-H300	300	300	540	640	120	120	100	620	1.468	0.640	20.800	0.420	660.60	ふたの寸法
U12-B300-H400	300	400	540	640	120	120	150	770	1.708	0.960	24.800	0.420	660.60	についてH
U12-B300-H500	300	500	540	640	120	120	150	870	1.948	0.960	28.800	0.420	660.60	C7型を使
U12-B400-H400	400	400	640	740	120	120	150	770	1.828	1.110	24.800	0.520	740.20	用。
U12-B400-H500	400	500	640	740	120	120	150	870	2.068	1.110	28.800	0.520	740.20	
U12-B500-H500	500	500	740	840	120	120	150	890	2.208	1.260	29.600	0.740	939.20	
U12-B500-H600	500	600	800	900	150	150	150	1,020	3.192	1.350	34.800	0.740	939.20	

C7型（場所打ちU型側倒りぶた）寸法および材料表

記号	寸法表(単位:mm)		材 料				鉄筋重量 (kg)		1枚当り重量(kg)	
	b <sub>4</sub>	h <sub>4</sub>	コンクリート(m <sup>2</sup> )	型わく(m <sup>2</sup> )	鉄筋(φ)		D13	D13		
					本数	長さ(mm)				本数
C7-B300	430	100	0.021	0.186	4	400	4	430	3.303	5.3
C7-B400	530	100	0.026	0.206	4	500	4	430	3.701	6.5
C7-B500	630	120	0.037	0.271	5	600	4	430	4.696	9.2

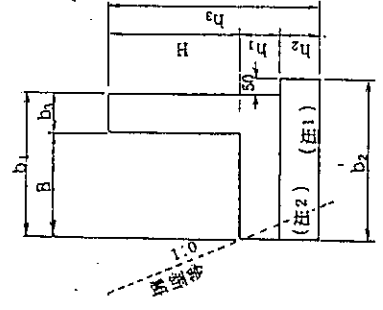
注意事項

- 基礎材の使用材料を該当する箇所に明記すること。
- 新よりぶたの記号における幅(B)は、そのふたを適用すべき側倒りの幅を表わす。
- 側倒りぶたのみを使用する場合は、タイトル中の( )内の記号を省きかえればよい。  
例：01-US-08(C7-B400)-S49
- 材料は10m当りで計上してある。ただし、ふたについては1枚当りも計上した。
- 型わく面積は、側壁を先行し底版を後行する施工方法を考慮して計上してある。
- ふたの型わく面積は、1枚当りについては4側面のみ計上してあるが、10m当りについては、現場の施工方法に従って計算し、空欄に記入すること。
- ふたの鉄筋(φ)および(φ)は、使用本数のみ示してあるので、施行にあたって等間隔に並列配置すること。
- 端部型わく面積を必要とする場合は、コンクリート体積(材料表内の数量の1/10)の2倍(両端の時)を計上すればよい。
- ふたの接地面は、コテを使用し平坦に仕上げること。
- コンクリート打設は豆板等が生じないよう十分な締め固めを行うこと。
- ふたの設置は上、下をまちがわがないようにすること。これに対しては上面に企業者などのマークをつけておくことよい。

図一(5)

現場打ちコンクリートL型側倒り

L1型



L1型：片側側壁に過載荷重による土圧を受ける場合  
設計基準強度 側倒り  $\sigma_{ck} = 160 \text{ kg/cm}^2$

注意事項

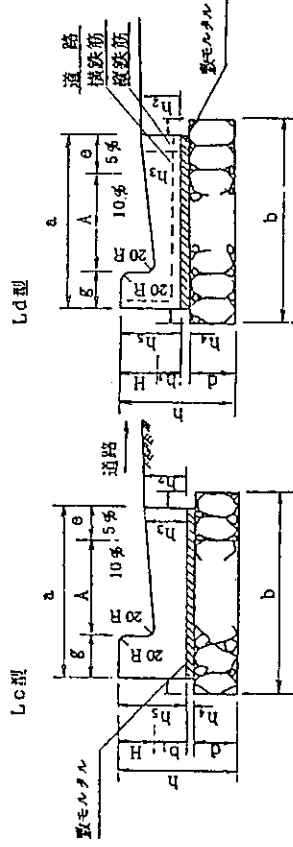
- 基礎材の使用材料を該当する箇所に明記すること。
- コンクリートおよび鉄筋の数量は原簿のこの配がない場合で計上してある。従って原簿等により配がある場合は減少仕体内の該当する数量は差引く必要がある。
- 材料は10m当りで計上してある。
- 型わく面積は側壁を先行し底版を後行する施工方法を考慮して計上してある。
- 端部型わく面積を必要とする場合は、コンクリート体積(材料表内の数量の1/10)の2倍(両端の時)を計上すればよい。
- コンクリート打設は豆板等を生じないよう十分な締め固めを行うこと。

h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	材料 割合		コンクリート(m <sup>3</sup> )	片 鉄 材 (m)
		1:0.2	1:0.3		
100	100	1:0.2	1:0.3	0.010	0.030
		1:0.4	0.020	0.015	0.045
		1:0.2	0.014	0.020	0.060
120	100	1:0.2	0.014	0.022	0.051
		1:0.4	0.029	0.029	0.058
120	150	1:0.2	0.014	0.022	0.088
		1:0.4	0.029	0.117	
150	150	1:0.2	0.023	0.034	0.068
		1:0.3	0.034	0.101	
		1:0.4	0.045	0.135	

L1型（現場打ちL型側倒り）寸法および材料表

記号	寸 法						材 料 表				
	B	H	b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	b <sub>3</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	コンクリート	基礎材(m <sup>2</sup> ) (注1)	型 わ く (m <sup>2</sup> )
L1-B200-H200	200	200	320	370	120	100	100	400	0.560	0.370	6.000
L1-B200-H300	200	300	350	400	150	120	100	520	0.870	0.400	8.400
L1-B300-H300	300	300	450	500	150	120	100	520	0.990	0.500	8.400
L1-B300-H400	300	400	450	500	150	120	150	670	1.114	0.750	10.400
L1-B400-H400	400	400	550	600	150	120	150	670	1.260	0.900	10.400
L1-B400-H500	400	500	550	600	150	120	150	770	1.410	0.900	12.400
L1-B500-H500	500	500	650	700	150	120	150	770	1.530	1.050	12.400
L1-B500-H600	500	600	650	700	150	150	150	900	1.875	1.050	15.000

図一(6)

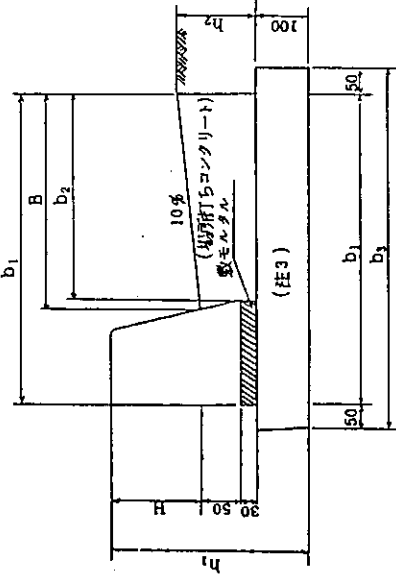


寸法表 (単位 cm)

型式	記号	材														
		A	H	a	b	d	e	f	g	h	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	h <sub>4</sub>	h <sub>5</sub>	
Lc型	A 25~H10	25	10	45	55	15	10	5	10	35.5	7.5	10.5	10	3	17.5	
	A 25~H10	25	10	45	55	15	10	5	10	35.5	7.5	10.5	10	3	17.5	
	A 25~H10	25	10	45	55	15	10	5	10	35.5	7.5	10.5	10	3	17.5	
Ld型	A 25~H10	25	10	45	55	15	10	5	10	33.5	5.5	8.5	8	3	15.5	
	A 30~H10	30	10	50	60	15	10	5	10	33.5	5.5	9.0	8.5	3	15.5	
	A 35~H10	35	10	55	65	15	10	5	10	33.5	5.5	9.5	9	3	15.5	

図一(7)

境界ブロック組合せL型鋼筋



(境界ブロック組合せL型鋼筋)

設計基準強度 場所打ちコンクリート  $\sigma_{ck} = 16.0 \text{ kg/cm}^2$

単位体積重量 無筋コンクリート 2350 kg/m<sup>3</sup>

(境界ブロック組合せL型鋼筋) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)							材料表 (10m当り)							摘要
	B	H	b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	b <sub>3</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	コンクリート(m <sup>3</sup> )	基礎材(m <sup>3</sup> ) (注3)	型枠(m <sup>2</sup> )	ブロック(個)	敷モルタル(m <sup>2</sup> )	目地モルタル(m <sup>2</sup> )		
PL3-B300-H150	300	150	465	295	565	330	110	0.282	0.565	1.10	A 16.5	0.051	0.003		
PL3-B300-H200	300	200	500	295	600	380	110	0.282	0.600	1.10	B 16.5	0.062	0.004		
PL3-B300-H250	300	250	505	295	605	430	110	0.282	0.605	1.10	C 16.5	0.063	0.005		
PL3-B400-H150	400	150	565	395	665	330	120	0.396	0.665	1.20	A 16.5	0.051	0.003		
PL3-B400-H200	400	200	600	395	700	380	120	0.396	0.700	1.20	B 16.5	0.062	0.004		
PL3-B400-H250	400	250	605	395	705	430	120	0.396	0.705	1.20	C 16.5	0.063	0.005		
PL3-B500-H150	500	150	665	495	765	330	130	0.521	0.765	1.30	A 16.5	0.051	0.003		
PL3-B500-H200	500	200	700	495	800	380	130	0.521	0.800	1.30	B 16.5	0.062	0.004		
PL3-B500-H250	500	250	705	495	805	430	130	0.521	0.805	1.30	C 16.5	0.063	0.005		